

当院にて骨軟部腫瘍でご加療中の方へおよびご家族の方へ

当院では粘液型脂肪肉腫・滑膜肉腫・通常型軟骨肉腫における NY-ESO-1 の発現と臨床成績に関する研究- 骨軟部肉腫治療研究会 (JMOG) 多施設共同研究 -を行っております。NY-ESO-1 は、がん免疫療法のターゲットとして有望視されているタンパクです。本研究では、病理学的に粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、または通常型軟骨肉腫と診断された方の腫瘍組織病理標本を収集し、NY-ESO-1 の発現について調査します。また、腫瘍の悪性度や治療成績などの臨床病理学的因子に関する情報も収集し、NY-ESO-1 の発現と臨床病理学的因子との関連について解析を行います。東京大学医学部附属病院整形外科は分担研究施設として参加致します。

【対象となる方】

2006年1月1日～2015年7月31日の間に本院整形外科で診断された粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫患者

【研究の意義】

NY-ESO-1 は、特定の腫瘍組織と精巢などごく一部の正常組織でのみ発現しているタンパクであり、がん免疫療法のターゲットとして有望視されています。骨軟部腫瘍では、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫で高発現が報告されていますが、主に海外からの報告であり、我が国における発現状況はよく分かっていません。また、NY-ESO-1 の発現と腫瘍の悪性度や治療成績との関連は十分に研究されていませんでした。この研究では、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫について、NY-ESO-1 の発現を調査するとともに、腫瘍の悪性度や治療成績などとの関連を解析します。その結果、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫が NY-ESO1 をターゲットとしたがん免疫療法の対象として、有望かどうか明らかになることが期待されます。

【研究の目的】

この研究の目的は、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫について、NY-ESO-1 の発現状況を明らかにするとともに腫瘍の悪性度や治療成績などとの関連を明らかにすることです。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。病理検査を目的に保存していた組織片から未染スライドを作成し、研究目的に使用します。当院でこれらのデータおよび検体（病理スライド）を匿名化して、国立がん研究センター整形外科、獨協医科大学越谷病院病理部、東京医科大学病理部で解析を行います。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分またはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで平成 28 年 月 日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。当院および国立癌がんセンターで収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後、それぞれ5年間および10年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医へお尋ねください。

平成 28 年 月

【研究機関名】

東京大学医学部附属病院整形外科

研究統括医師: 東京大学医学部附属病院整形外科 助教 小林寛

東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

本研究に必要な一部の資金は、東京大学医学部附属病院整形外科運営費にて管理・運用します。また、病理スライド作成費用、事務局の運営資金は、JMOGとタカラバイオ株式会社との委受託契約に基づき行われます。

尚、あなたへの謝金はございません。また、今回の研究で知的財産が発生した場合にあなたおよび家族に財産分与はございません。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院整形外科 助教 小林寛

住所：東京都文京区本郷7 - 3 - 1

電話：03-3815-5411（内線 33375） FAX：03-3818-4082

Eメールでのお問い合わせ：hkobayashi-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 整形外科 診療科責任者名 田中栄